

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知県立みあい特別支援学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒444-0802

愛知県岡崎市美合町1-5-1

E-mail miai-toku@pref.aichi.lg.jp

Website www.miai-sh.aichi-c.ed.jp

幼児児童生徒数 男子198名 女子90名 合計288名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

プロジェクトのテーマ「共生社会の実現」を具現化するために、「共に生きる」という観点から、児童生徒が家庭や地域の人々とのコミュニケーションを広げる機会を積極的に設定し、児童生徒の発達段階と生活年齢を考慮した学習活動を実践していく。主な活動内容を三つに分類し、次のねらいを掲げている。

① 「自分の力を発揮する活動」

【ねらい】 障害の程度や発達段階に応じて、人やものに関わることができ、豊かな生活ができるようにする

時期	活動	内容	実施学部・学年
通年	各教科等	・児童生徒の障害特性に合わせた課題に取り組む	全学年
通年	清掃活動	・学校の清掃活動に取り組む	全学年

② 「社会に参加する活動」

【ねらい】社会の一員として活動する素地やコミュニケーション能力を高め、ルールやマナーを守って、気持ちよく社会参加できるようにする

時期	活動	内容	実施学部・学年
通年	校外学習	・学校周辺の散策 ・公共交通機関の利用方法、マナー ・買い物学習 ・地域の伝統文化を学ぶ	全学年
通年	校外作業学習	・近隣の商業施設などで作業	高等部
2月	学校間交流（小）	・岡崎市立緑丘小学校と交流	小学部
6, 10月	学校間交流（中）	・岡崎市立竜南中学校(ユネスコスクール)と交流	中学部
8月	部活動交流	・愛知県立岡崎高等学校陸上部と本校スポーツ部が合同練習	高等部 スポーツ部
6, 10月	さつまいも交流	・老人会と一緒に苗植えし、近隣の幼稚園児を招いてもほりをする	高等部 園芸班
1月	絵手紙交流	・地域の方を講師として招き、絵手紙を一緒に作成する	中学部
2月	グラウンドゴルフ交流	・地域の老人クラブの方とグラウンドゴルフを行う	高等部
8, 1, 3月	作品展	・近隣の信用金庫や図書館に児童生徒の作品を展示する	全学年
通年（月に1回）	学校花壇整備交流	・学校花壇の整備や茶話会などを地域のボランティアと行う	高等部 園芸班

③ 「社会に役立つ活動」

【ねらい】身近な人から外国まで視野を広げ、ボランティア精神や互助の精神を身に付けると同時に、児童生徒自身が自己肯定感を高める。

時期	活動	内容	実施学部・学年
6, 1月	あいさつ運動	・近隣の駅周辺であいさつをする	高等部生徒会
通年	エコキャップ活動	・キャップのリサイクル活動を通じて社会貢献をする	全学年
通年	清掃活動	・地域の清掃活動に取り組む	高等部

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ・ウェブサイト「ユニクロ服のチカラプロジェクト」
- ・iPad (校外学習の調べ学習など)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

各活動は年間指導計画の中に位置づけている。

- ・「自分の力を発揮する活動」は主に自立活動や日常生活の指導、生活単元学習の中で実施している。
- ・「社会に参加する活動」は主に生活単元学習、総合的な学習の時間、作業学習の中で実施している。
- ・「社会に役立つ活動」は主に特別活動（生徒会活動）の中で実施している。各活動が終わった後に、活動の反省をして次年度に生かしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌としてESD部を作り、職員に対するESDの啓発とESD活動のとりまとめをしている。今年度は、講師を招いて研修会を3回行った。職員の研修用に本校の取組をまとめた資料を作成したりした。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部評価は各活動が終わるごとに関係職員で反省をして成果と課題をあげている。外部評価は、研修会に講師としてお越しいただいた大学教授に本校の取組を見ていただき、評価していただいた。児童生徒にとっては、社会に参加する活動を通してコミュニケーション能力の向上、社会に役立つ活動を通して自己肯定感などの自尊感情を育むことができた。また、関わった地域の方や交流校の児童生徒にとっては、本校や障害のある児童生徒の理解を広げられた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

8月に行われた「全国特別支援学校ESDフォーラム」で本校の活動を発表した。また、他の特別支援学校の活動を知り、本校の活動に生かすことができた。

学校HPやユネスコスクールウェブサイト、OTA等での積極的な発信はできなかった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

- ・ 地域ボランティア（学校花壇整備交流）
- ・ 地域老人会（いもほり交流、グラウンドゴルフ交流）
- ・ コスモスの会（絵手紙交流）
- ・ 近隣の信用金庫（作品展）
- ・ フジイ化工株式会社（エコキャップ活動）
- ・ ユニクロ（服のチカラプロジェクト）
- ・ 相山女学園大学（研修会講師）

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

【国内】

- ・ 中学部学校間交流（岡崎市立竜南中学校）
- ・ 全国特別支援学校ESDフォーラム参加（千葉県立桜が丘特別支援学校、千葉県立印旛特別支援学校、見附市立見附特別支援学校、広島県立西条特別支援学校、徳島県立ひのみね支援学校、大牟田市立大牟田特別支援学校、愛知県立豊橋聾学校、愛知教育大学附属特別支援学校）

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

【児童生徒】

- ・ 校外学習などの体験活動を通して社会のルールやマナーが習得できた
- ・ 交流および共同学習など他者との関わりを通してコミュニケーション能力が向上した
- ・ 社会に役立つ活動を通して自己肯定感などの自尊感情を高められた

【地域】

- ・ 様々な交流を通して本校や障害のある児童生徒への理解が広がった

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

基本的には今年度と同様の活動を実施予定

① 「自分の力を発揮する活動」

各教科、清掃活動

② 「社会に参加する活動」

校外学習、学校間交流、部活動交流、いもほり交流、学校花壇整備交流、絵手紙交流、作品展

③ 「社会に役立つ活動」

あいさつ運動、エコキャップ活動、服のチカラプロジェクト